

令和7（2025）年度

公益財団法人足利市民文化財団
事業計画書及び収支予算書



公益財団法人 足利市民文化財団

目 次

I 事業計画書	・ ・ ・	3	～	5
II 収支予算書	・ ・ ・	6	～	9

I 令和7年度公益財団法人足利市民文化財団事業計画書

1 基本計画

当財団は、「足利市固有の自然的、歴史的環境及び関連する芸術品・文化財等の保護並びに芸術・文化活動の振興を図るとともに、文化施設の整備を行い、市民生活の充実と文化都市としての発展に寄与する事業を推進すること」を基本理念に、各事業を展開し本市の文化都市としての発展に寄与してきた。

足利市の魅力ある市民文化の向上を目指して、次の公益目的事業を実施する。

2 公益目的事業

(1) 美術品・文化財の収集、展示、貸出事業

本市の出身者など本市にゆかりのある画家の作品や貴重な文化財などの散逸を防ぐため、芸術品や美術品の寄贈を受け若しくは購入をする。

また、当財団が所有する所蔵品等を、市民が観覧できるよう所蔵品展を開催するほか、各種展覧会等への貸し出しを行う。

保管する所蔵品について定期的な点検・確認を行い適正な維持管理を行う。

① 足利市民文化財団所蔵品展

- ・ 時期 令和8年1月
- ・ 会場 足利市立美術館

(2) 足利市内の文化財紹介・啓発事業

歴史的な価値のある文化財について紹介するとともに、市民の文化財への関心を高め、また、健全・保護意識を高揚するため、次の事業を実施する。

【歴史セミナー】

① 名古屋市 徳川美術館「時をかける名刀」展見学(名古屋市コース)

- ・ 時期 令和7年6月16日(月)
- ・ 会場 名古屋市 徳川美術館、名古屋城他
- ・ 内容 徳川美術館で、歴史ある数多くの銘刀とともに当財団が所有する「山姥切国広」が展示されることから、現地に訪問し美術館等を見学することで歴史ある文化財や美術品に対する認識を深める。

② 戦国武将足利長尾の城跡めぐり(足利市コース)

- ・ 時期 令和7年11月
- ・ 場所 足利城跡(両崖山城)他
- ・ 内容 戦国時代に足利に入部した長尾氏が築いた城跡をめぐること、当時の歴史や、後に国広作「山姥切国広」が誕生するまでの背景などを考えてみる。

③ 鎌倉市内の足利氏ゆかりの寺社等めぐり(鎌倉市コース)

- ・ 時 期 令和8年2月
- ・ 会 場 鎌倉市 永福寺跡、鎌倉歴史文化交流館他
- ・ 内 容 足利氏の歴史的に深いつながりを持つ鎌倉市の寺社等を訪ね、歴史ある文化財を理解し関心を深め、さらなる「歴史と文化のまち足利」の発展に寄与する。

【文化財案内板整備】

- ・ 時 期 令和7年10月～12月
- ・ 内 容 文化財に対する認識と理解を深めるため、価値や歴史を標記した案内板を整備する。

(3) 文化講演会の開催事業

市民の芸術・文化活動に対する関心を高め、さらなる振興を図ることを目的とした講演会を開催する。

① 文化講演会 (文化協会との共催事業)

- ・ 時 期 令和8年2月
- ・ 会 場 未定

(4) 地域の芸術・文化活動等を行う団体に対する助成事業

住民団体の芸術・文化活動を活性化させ、地域文化の向上と市民への啓発を目的として費用の一部を助成する。

- ① 市民文化祭への助成
- ② 地区文化祭(文化財紹介コーナー設置)への助成
- ③ 自然的、歴史的環境保護事業への助成
- ④ 芸術・文化各種団体への助成
- ⑤ 文化財保存整備への助成

(5) 芸術・文化に関する情報提供

① 「市民文化財団報」の発行

年1回(9月)発行、市内全戸配布

② インターネット等の活用

事業のPRのため、市の広報紙や新聞、ケーブルテレビ等を活用し、市民へ情報提供を行うほか、ホームページの充実を図る。

令和7年度 足利市民文化財団行事予定

実施月	事業名及び内容	会場
5月	令和6年度事務事業監査	市役所会議室
	第1回理事会(定時)	市役所会議室
6月	歴史セミナー (名古屋市コース) 徳川美術館「時をかける名刀」展	徳川美術館他 (名古屋市)
	第1回評議員会(定時)	市役所会議室
9月	市民文化財団報発行	—
	令和6年度事業決算報告(議会)	市議会
10月	第1回事業委員会	市役所会議室
	第2回理事会(臨時)	市役所会議室
11月	芸術・文化活動等事業助成金交付	各種団体
	歴史セミナー (足利市コース) 戦国武将足利長尾氏の城跡めぐり	足利城跡他
1月	第2回事業委員会	市役所会議室
	第3回理事会(通常)	市役所会議室
	所蔵品展	市立美術館
2月	歴史セミナー (鎌倉市コース) 足利氏ゆかりの寺社等を訪ねて	永福寺跡他 (鎌倉市)
	文化講演会 【文化協会との共催】	未定
	第2回評議員会(臨時)	市役所会議室
3月	令和8年度事業計画・予算報告(議会)	市議会
随時	各文化団体等への事業支援等	—

Ⅱ 令和7年度公益財団法人足利市民文化財団収支予算書(正味財産増減計算ベース)

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	令和7年度			令和6年度	増 減	備 考
	公益目的事業会計	法人会計	合 計			
	A	B	C = A + B	D	C - D	
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	4,500	0	4,500	2,958	1,542	
基本財産受取利息	4,500	0	4,500	2,958	1,542	
特定資産運用益	1,036	1,266	2,302	1,268	1,034	
特定資産受取利息	1,036	1,266	2,302	1,268	1,034	
事業収益	1,050	0	1,050	0	1,050	
歴史セミナー事業収益	1,000	0	1,000	0	1,000	
所蔵品貸出事業収益	50	0	50	0	50	
受取補助金等収益	200	0	200	200	0	
受取出借金	200	0	200	200	0	
受取寄付金	58	0	58	55	3	
受取寄付金	58	0	58	55	3	
雑収益	0	0	0	0	0	
雑収益	0	0	0	0	0	
経常収益計	6,844	1,266	8,110	4,481	3,629	
(2) 経常費用						
事業費						
通信運搬費	70	0	70	40	30	
什器備品費	100	0	100	100	0	
消耗品費	350	0	350	200	150	
印刷製本費	300	0	300	300	0	
諸謝金	170	0	170	100	70	
委託費	700	0	700	700	0	
歴史セミナー費	2,600	0	2,600	0	2,600	
システム管理費	200	0	200	20	180	
会議費	15	0	15	10	5	
渉外費	25	0	25	0	25	
租税公課	15	0	15	0	15	
修繕費	300	0	300	270	30	
支払負担金	50	0	50	50	0	
支払助成金	4,000	0	4,000	3,500	500	
使用料	200	0	200	200	0	
支払手数料	30	0	30	30	0	
減価償却費	190	0	190	225	△ 35	
雑費	35	0	35	25	10	
小計	9,350	0	9,350	5,770	3,580	
管理費						
旅費交通費	0	180	180	220	△ 40	
通信運搬費	0	40	40	20	20	
什器備品費	0	300	300	0	300	
消耗品費	0	70	70	100	△ 30	
印刷製本費	0	280	280	230	50	
システム管理費	0	280	280	140	140	
会議費	0	50	50	50	0	
渉外費	0	10	10	10	0	
支払手数料	0	10	10	10	0	
広告宣伝費	0	25	25	25	0	
諸会費	0	72	72	72	0	
図書費	0	20	20	20	0	
減価償却費	0	113	113	53	60	
雑費	0	50	50	50	0	
小計	0	1,500	1,500	1,000	500	
経常費用計	9,350	1,500	10,850	6,770	4,080	

科 目	令和7年度			令和6年度	増 減	備 考
	公益目的事業会計	法人会計	合 計			
	A	B	C = A + B			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,506	△ 234	△ 2,740	△ 2,289	△ 451	
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△ 2,506	△ 234	△ 2,740	△ 2,289	△ 451	
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 2,506	△ 234	△ 2,740	△ 2,289	△ 451	
一般正味財産期首残高	705,942	152,532	858,474	673,509	184,965	
一般正味財産期末残高	703,637	152,568	856,205	672,566	183,639	
II 指定正味財産増減の部						
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	530,440	0	530,440	530,440	0	
指定正味財産期末残高	530,440	0	530,440	530,440	0	
III 正味財産期末残高	1,234,077	152,568	1,386,645	1,203,006	183,639	

1. 従来、収支予算書は「資金収支方式」により作成していたが、平成25年度から公益法人認定法施行規則第30条に基づき、「正味財産増減方式」により作成している。
2. 収支予算書は、公益法人会計基準の運用指針(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)の「正味財産増減計算書」様式に準じて作成している。
3. 前年度の一般正味財産期首残高は、令和5年度の一般正味財産期末残高(決算額)とした。
4. 当年度の一般正味財産期首残高は、令和6年度の決算見込みに基づき算出した一般正味財産期末残高の値とした。

収支予算書

参考

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入				
基本財産運用収入	4,500	2,958	1,542	利息収入
②特別事業基金運用収入				
特別事業基金運用収入	2,300	1,266	1,034	利息収入
③特定事業積立預金運用収入				
特定事業積立預金運用収入	2	2	0	利息収入
④事業収益				
歴史セミナー事業収益	1,000	0	1,000	名古屋市、市内城跡めぐり 鎌倉市の各コース参加負担金
所蔵品貸出事業収益	50	0	50	
⑤補助金等収入				
出捐金収入	200	200	0	
⑥寄附金収入				
運用財産寄附金収入	58	55	3	
基本財産寄附金収入	0	0	0	
特別事業基金寄附金収入	0	0	0	
⑥雑収入				
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	8,110	4,481	3,629	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
講演会開催事業				
文化講演会費	50	50	0	講演会開催
文化財紹介・啓発事業				
歴史セミナー事業	2,600	0	2,600	名古屋市、市内城跡めぐり 鎌倉市の各コース
写真パネル作成・貸出	200	200	0	文化財紹介パネル作成
案内板、標識等設置・管理	500	200	300	文化財案内板補修等委託費
所蔵品等資料作製	200	200	0	所蔵品紹介冊子・カードの作製
美術品・文化財の収集、展示、貸出事業				
所蔵品展	500	300	200	所蔵品展開催
美術品・文化財の収集	600	0	600	美術品・文化財収集
所蔵品等の管理	300	0	300	所蔵品等の管理
芸術・文化活動団体等助成事業				
市民文化祭等助成	500	500	0	市民文化祭等助成
各種団体助成	2,500	2,000	500	各種団体助成
文化財保存整備助成	1,000	1,000	0	文化財保存整備費助成
山姥切国広特別事業				
山姥切国広特別展	0	600	△ 600	
刀剣鑑賞特別講演会	0	100	△ 100	
刀剣維持管理整備	0	300	△ 300	
芸術・文化に関する情報提供				
財団報作成費等	400	320	80	財団報作製等

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
②管理費支出				
会議費	50	50	0	理事会、評議員会、 事業委員会、その他
事務局費	1,400	900	500	通信運搬費、旅費交通費、研修会 参加費、什器備品費、システム管 理費、消耗品費、印刷製本費、渉 外費
雑費	50	50	0	雑費
事業活動支出計	10,850	6,770	4,080	
事業活動収支差額	△ 2,740	△ 2,289	△ 451	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①基本財産収入				
基本財産収入	0	0	0	
②特定資産収入				
特別事業基金収入	0	0	0	
特定事業積立預金収入	0	0	0	
特別事業基金取崩収入	0	500	△ 500	
投資活動収入計	0	500	△ 500	
2. 投資活動支出				
①基本財産取得支出				
基本財産取得支出	0	0	0	
②特定資産取得支出				
特別事業基金取得支出	0	0	0	
特定事業積立預金取得支出	0	0	0	
③固定資産取得支出	0	500	△ 500	
投資活動支出計	0	500	△ 500	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 予備費支出				
当期収支差額	△ 2,740	△ 2,289	△ 451	
前期繰越収支差額	2,800	2,400	400	
次期繰越収支差額	60	111	△ 51	

(注) 財務活動収支の部については計上なしとなります。

資金調達及び設備投資の見込みについて

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中に借入れによる資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中に重要な設備投資（除去又は売却を含む。）の予定はありません。